



病院探訪!!

第5回

～リハビリテーション部～



病院探訪第5弾!リハビリテーション部です。

専門的・集中的なリハビリテーションを早期から提供する日々の業務内容や様々な取り組みについてお話ししたいと思います。

当院のリハビリテーション部は医師3名(常勤1名・非常勤2名)、理学療法士(13名)、作業療法士(5名)、言語聴覚士(7名)が在籍しています。

けがや病気をされた方に、医師の指示のもと、リハビリテーションを行います。当センターの規模でリハビリテーション専従医が在籍していることは珍しく、より安全にリハビリテーションを実施できる環境を整えています!



(写真中央:岡山悟志部長)

リハビリテーション室

正面玄関から入り、コンビニの横の廊下をまっすぐ進むと左手にリハビリテーション室、右手に心臓リハビリテーション室があります。

リハビリテーション室の大きい窓からは葛城山・二上山・王寺の街並みが見え、良い景色が眺望できる環境でリハビリを実施しております。



リハビリテーションには3つの職種があり、専門性を持ってリハビリを実施しています！

理学療法士 (Physical Therapist : PT)

ケガや病気・高齢などにより運動機能の低下や障害の発生が予測される方に対して、基本的動作能力（座る・立つ・歩くなど）の回復や維持、予防を目的に運動療法や物理療法（電気等の物理的手段）などを用いて日常生活が送れるように支援する専門職です。



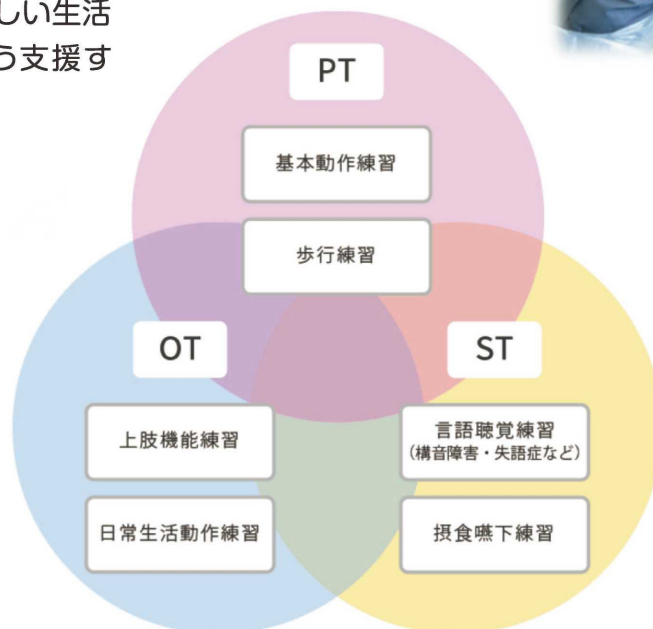
作業療法士 (Occupational Therapist : OT)

体の運動機能や認知機能、精神面に困難がある方に対して、専門的なサポートを行い、基本的な動作能力から応用的な作業能力、社会に適応できる能力を維持・改善し「その人らしい」生活に復帰できるよう支援する専門職です。



言語聴覚士 (Speech Therapist : ST)

ことばによるコミュニケーションに問題のある方、また摂食・嚥下に問題のある方に対して、専門的な評価・治療を提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。



手術やケガ・病気によって起こる臥床状態からできるだけ早く回復できるように、集中治療室のような早期から社会復帰し再発や再入院を繰り返さないよう維持期など様々な病期でリハビリを実施しています。

集中治療室 (ICU/CCU・HCU) の リハビリテーション

集中治療では、全身状態を安定化させる専門的な診療が提供されています。

そのような状態でも、早期回復に向けての支援を行う必要があり、医師・看護師・栄養士・臨床工学技士などと連携し、リハビリの介入を実施します。



心臓リハビリテーション

心臓リハビリテーション室には、自転車エルゴメーターを5台設置しています。

また心臓運動負荷システム・運動負荷血圧監視装置を導入し、患者さんにより安全に心臓リハビリを受けて頂けるよう努めています。

医師・臨床検査技師が安全に心肺運動負荷試験 (CPX検査) を実施し、患者さんの適正な運動負荷量を評価しています。



心肺運動負荷システム

様々な医療機器を使用してリハビリを行うこともあります。使用に関しては、医師の指示のもと、適切に行います。



ジェントルスティム

皮膚抵抗が少ない干渉波を利用することで、ピリピリした不快な感を軽減した状態で神経に作用します。
摂食嚥下障害に使用することがあります。



IVES (アイビス)

2種類（パワーアシスト、センサートリガー）の治療モードがあり、上肢と下肢の両方に使用できます。
筋肉の動きを電気信号として読み取り動きに応じた電気刺激を筋肉に与えることができます。

また当院に通院されている患者さん、また地域の皆さんに向けて医師・看護師・メディカルスタッフと協力し、病気について知識を深めて頂けるような教室を毎年開催しています。

 心臓病教室  腎臓病教室  糖尿病教室

★各教室のお知らせについては、病院ホームページなどをご確認ください。

リハビリテーション部では現在25名の療法士が在籍し、専門的・集中的なリハビリテーションを早期から患者さんに提供しています。急性期リハビリテーションの役割として、在宅医療や回復期リハビリテーション病院などへ円滑に退院や転院ができるよう支援しています。またリハビリテーションスタッフとして知識・技術の向上に努め、より専門性を高めるため認定や資格の取得を行っています。チーム医療やカンファレンスに積極的に参加し、医師、看護師、多職種と連携することで「患者サービスの向上」「医療の質の向上」が行えるように努めています。これからも療法士全員が明るい雰囲気でのリハビリテーション業務に取り組んでいきたいと考えています。



リハビリテーション部
技師長 大垣 晋吾

お知らせ

在宅ケアに関わる職種対象の講座

西和MC在宅支援講座 (Web)

- 令和6年12月12日 (木) 17:30~18:30
感染管理認定看護師 森脇 美智子
- 令和7年2月20日 (木) 17:30~18:30
がん看護専門看護師 安田 明美



医療職対象の講座

地域医療連携講座 (会場とWebのハイブリッド開催)

- 令和7年1月16日 (木) 14:00~15:00
総合内科・感染症内科・腫瘍内科
感染対策室
- 令和7年3月13日 (木) 14:00~15:00
消化器内科
中央臨床検査部

*詳細はお問い合わせ下さい。



糖尿病に関心のある地域の皆さま対象

令和6年度西和医療センター 糖尿病教室 (後期) のお知らせ 糖尿病に関心がある地域の皆様のための教室です。お申し込みは西和医療センター栄養管理部まで。

テーマ	
● 12月18日 (水) 13:30~15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で気をつけることは?冬編 (40分) 看護師 ・自分で血糖を測ってみましょう (40分) 臨床検査技師
● 2月5日 (水) 13:30~15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病のお薬について (40分) 薬剤師 ・みんなで話そう! 糖尿病のあれこれ (40分) 全員



どれか1回のみ
の参加も大歓迎!!
まずは一度お問い合わせ
下さい。

- ◆ 申込先電話: 西和医療センター栄養管理部 0745 (32) 0505 (内線2720)
- ◆ 場所: 西和医療センター事務棟1階 大会議室
- ◆ 感染予防のため、マスク着用・検温・手指衛生にご協力お願い致します。

★表紙掲載のロゴマークについて

奈良県西和医療センターは安全で良質な医療サービスを提供するため、国際基準を満たした品質マネジメントを構築し、2022年12月12日にISO9001の認証を取得しました。医療の質における継続的な改善活動に取り組むことで「いい医療をより多くの患者さんへ」提供し、奈良県民の命と安全を守ることに貢献します。

「ファミリー」は年に3回の発刊を予定しております。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。「ファミリー」とは、フランス語で「家族」という意味で、病院の理念「患者さんを家族のように愛する」から情報誌の名前としました。

住民の皆様に関わる情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしております。詳細は地域医療連携室にお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 令和6年12月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 広報委員会

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354(地域医療連携室)

